



最高峰に登ろう



国	籍	インドネシア
職	種	そう菜製造業
実習実施者		株式会社駿豆給食センター
監理団体		公益社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会

モハマッド フェルディアンシャー MOHAMMAD FERDIANSYAH

私は日本に行く前に、日本で生活することになる住所を教えてもらいました。静岡県だと言われ、あとでその場所を探しました。私が見つけた静岡県は、美しい場所ばかりでした。富士山や三島スカイウォーク、そして多くの美しい海岸などがありました。静岡県には、訪れたい場所がたくさんありました。

インドネシアにも、訪れるべき美しい場所があります。私が住んでいた地域には、ユニークな形の美しい山や滝や湖がたくさんあります。私の趣味は登山なので、時間があるときは家の近くの山に登っていました。

初めての登山は、決して順調ではありませんでした。むしろ、少し厄介なものだと感じました。初めてのことで、山の様子や準備についてはよく分かりませんでした。

何事もなく山に登るには、考慮すべきことがあります。物理的な準備つまり体力面の準備や、持っていく道具の準備が必要です。たとえば、登る一週間前は毎日運動することが大事です。体が目覚め、疲れにくくなるようです。持ち物は、リュック、懐中電灯、ダウンジャケット、レインウェア、非常食や水分補給用の飲み物などです。

持っていく道具が分からないまま山に登ったり、持ち物を忘れたりするのは危険です。登山中、気になるからです。

私は今、日本にいます。日本に行く前に「富士山に登る」という夢がありました。初年度はまだ道具を持っていなかったもので、登れませんでした。二年目は、コロナウイルスのパンデミックのために登れませんでした。三年目は、富士山の登山口が開いているのか分からなかったもので、かなり必死で情報を探しました。ある日、富士登山が解禁されたという情報が手に入りました。すぐに私は、友達と予定を立てました。

ついに、「富士山に登る」という夢が叶うときが来ました。登山ルートの地形は簡単だと思いましたが実際はとても険しく難所でした。富士山は火山の山なので、登山ルートは海岸のように岩だらけでした。登頂には、八時間掛かりました。ひたすら登山ルートを登るのは非常に大変で、とても疲れました。

ところが、やっと富士山の頂上にたどり着いて日の出を見ると、あっという間に疲れが吹き飛びました。不思議な感覚でした。富士山から見た日の出は本当に美しく、忘れられない瞬間になりました。

登山はとても楽しいことです。知らない人同士が励まし合い、多くの人に出会い、頂上からは日の出を見ることができます。確かに山に登るのは簡単なことではありません。しかし、富士山に登頂でき、私は肉体的にも精神的にも忍耐強くなりました。これまで高いと思っていたものは、より高いものであることも分かりました。目的を達成するためには、できるという樂觀的な気持ちと同時に、熱心に取り組むことが大切ではないでしょうか。